

世界史B

第1問 問4 「4」

資料の内容と、知識・地図を結びつけて考察する問題で、各学力層で差がついた

先 生：その後、ローマ帝国は広大な領域の統治を維持できず、395年に東西に分裂しますが、そのきっかけとなったのは、376年から始まるゲルマン人の侵入でした。ゲルマン人がローマ帝国の周縁であったある地域へと侵入したことを記す、次の資料2をみてください。

資料2 『ローマ史』の記述
(著作権の都合により非掲載)

先 生：資料2中の「これまで見たことのない人種」とは何をさすのでしょうか。

渡 辺： でしょうか。

先 生：その通りです。では、資料2中のゴート人が避難先として選んだトラキアという地域は後の地図中のどこになるのでしょうか。

渡 辺：資料2の記述から、 と考えられます。

先 生：その通りです。

地図



問4 前の会話文中の空欄 に入れる語と、空欄 に入れる前の地図中の位置 a・b との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① イーケルト人 ウー a ② イーケルト人 ウー b
③ イーファン人 ウー a ④ イーファン人 ウー b

第1問 問4 「4」

正解率	52.8%
SS70~75	88.0%
SS65~70	77.9%
SS60~65	68.9%
SS55~60	62.3%
SS50~55	57.6%

2022年度第3回ベネッセ・駿台
大学入学共通テスト模試
「世界史B」

受験者数： 44,582人
平均点： 47.9点
標準偏差： 18.0

世界史B

第1問 問4 「4」

資料の内容と、知識・地図を結びつけて考察する問題で、各学力層で差がついた

結果分析

第1問の問4は、会話文や初見の資料の内容を、既習の知識と結びつけて考察する問題で、地理的認識も問われました。結果、各学力層で差がつかしました。

ここでは、「これまでに見たことのない人種」がゴート人を圧迫しているという記述から、ゲルマン人の移動のきっかけとなったフン人が解答であると判断できます。また、「ドナウ川」をヒントに地図と照らし合わせて考えることでトラキアの場所が想起できます。

指導のご提案

知識の整理と習得は進められていると思います。共通テストでは、知識理解に加え、文献資料やグラフ・表や地図、また写真や模式図などのさまざまな資料が提示され、そこから情報を読み取り、背景・原因・影響・結果、関連性など、事象相互のつながりに着目し、関連づけて考察する出題がされます。共通テスト本番までの1か月で、資料を用いた実戦的な問題演習を重ね、「資料で何を述べているのか、表しているのか」という視点や、「知識と関連づけて考える」という視点で学習をすすめることが大切です。